

紫波町で暮らす

ちょうど良い田舎暮らし



1

紫波町で過ごす私の一年

2

紫波町に住む人に聞きました
「紫波町ってどんな町？」

3

紫波町へようこそ
移住にかかる費用を支援します

1 紫波町で過ごす私の一年

春

山菜をたのしむ



書いた人：村上一江

紫波町役場地域づくり課

移住コーディネーター

3年前に紫波町に移住し、畑コミュニティを開きつつ、時々餃子屋さん、たまに八百屋さんも開く。



春がやってきた。向かいに住んでいるおじいちゃんが畑仕事を始めると「もう春なんだ」と感じる。冬に雪をかぶっていた畑が一気に野菜や花でいっぱいになる。「今年は、何を植えるんですか？」とおじいちゃんと話す時間も楽しい。私は、ズッキーニとゴーヤが好きなので毎年家の畑に植えることにしている。1から自分の畑をつくることにわくわくしている。

産直に山菜が並び始めるのも春の訪れの合図だ。いつもは買っていたけれど、今年は友達に教えてもらいながら山菜採りへ。たらの芽、こしあぶら、ミズをついは採りながら、ついはしゃいでしまう。普段揚げ物をするのは面倒だと思うが、山菜が採れる時期だけ天ぷらは何回も食べる。

城山公園の桜が満開になったので、商店街でいろいろ買って、友達とお花見。天気が良いと岩手山も見える。田んぼは水を張って空や山、夕焼けが映り込む姿が綺麗だなと思っているとすぐ田植えの時期になる。農家さんのところにお手伝いをしにいて、みんなで休憩をする小昼時間が楽しい。

私に夏の知らせをしてくれるのは、ズッキーニだ。フライパンでさっと焼いて塩をふって食べると、「今年も夏がきたなあ〜」と感じる。トマト、ナス、ピーマン、きゅうり。毎日どんどん食卓が色とりどりで豊かになる。朝、早く起きて野菜を収穫してゆっくりご飯を食べる夏の朝が気持ち良い。

もう一つの楽しみは梅仕事。収穫した梅で梅シロップや梅酒を仕込むことが毎年の恒例だ。友達とお互い好きなものを瓶につめて、「今年も楽しみだね」と話す。角砂糖が少しずつ溶けていく様子を眺める時間も好きだ。

紫波町はとにかくイベントが多い。週末にふらっとイベントに遊びにいて買い物を楽しんだり、友達とお酒を飲んだりする時間も楽しい。

季節の野菜を楽しむ

夏



秋

実りの秋！



紫波町にきてから果物を食べる量がすごく増えた。ぶどうの時期になると産直に町内外たくさんの人が訪れて、道路も渋滞する。いろんな種類のぶどうを買って、お気に入りのぶどうを探すことを楽しみにしている。

この時期、私がやることはかかしをつくること。紫波ふる里センターで毎年開催されている、かかし祭りにかかしを出展している。今にも動き出しそうなかかしたちが大集結するかかし祭りは秋の楽しみの一つだ。今年は、食べるように植えたはずのかぼちゃが、全部ハロウィンかぼちゃだったので、子供から大人、みんなで自分のジャックオーランタンを作った。

秋になったら畑じまいをする。「今年もどうもありがとうございました。また来年もよろしくお願いします。」の気持ちを込めて片付ける。今年のは今年のうちに片付けておくのがコツだ。さつまいも堀りや、稲刈りなど、汚れる作業をしたあとには温泉に行くのが気持ち良い。

採れた里芋で、畑コミュニティのみなさんと芋煮パーティーをする。にんじん、ネギ、里芋などみんなで育てた野菜をなんでも入れて具がたくさんな芋煮汁にする。里芋は採ってすぐに食べるのが一番おいしいと思っていて、毎年炊き込みご飯や、からあげ、芋の子汁や、春巻きなどを楽しみに植えている。



紫波町の冬は寒い。最近、雪が少なくなったけれど、朝の雪かきと道路はつるつる滑るので早めに行動することが大事だ。

年末は日詰平井邸で餅つきをする。みんなで「よいしょ〜!」とついたお餅をみなでお雑煮で食べる。会いたい人に会えて「今年もありがとうございました」と挨拶を交わす。

年があげると、畑コミュニティのみんなで味噌づくりをする。今年は、30名の方と一緒に味噌の仕込みをした。大豆のつぶし加減をかえてみたり、去年の味噌や酒粕で蓋をしたり。つくる人によってやり方が違うのも楽しい。ここから数ヶ月育てた味噌は、味噌を主役で食べたいくらい、おいしいお味噌になる。

雪に包まれる季節だけれど、温かいお鍋を楽しんだり、編み物をしたり、次の春へむけた畑の計画をたてたりと、冬も大忙しである。

おうちの中で楽しむ

冬



2

紫波町に住む人に聞きました —「紫波町ってどんな町？」—

盛岡市や花巻市などの
近隣市町村へ行きやすい

盛岡市と花巻市の間に位置。
インターチェンジや3つの駅があ
る。

●自動車
盛岡市→紫波（約30分）



役場に隣接して、子育て応援センタ
ーや病児保育室が併設の小児科があ
る。お母さんが子育てに迷った時、
仕事を休めない日に子供が熱を出し
た時、受け止めてくれる人と場所が
ある。



複合商業施設「オガールエリア」には、飲
食点、販売店、クリニック、体育館、ホテ
ル、図書館、町役場、複数のレンタルス
ペースなどさまざまなサービスや施設が集
まっています。

産直がたくさん！
旬の野菜や果物が楽しめる！



町には産直施設が8か所あって、新
鮮な野菜や果物を楽しむことがで
きます。産直めぐりにもぴったりで
す。

挑戦しやすい町
移住者を受け入れてくれる町



やりたいことを応援してくれる方が多
いです。レンタルスペースなど気軽に
活動できる場も多く、挑戦できる仕組
みがあります。

紫波町内だけでたくさんのお酒を
楽しむことができます！



日本三大杜氏のひとつである南部杜
氏の発祥の地で4つの酒蔵の日本
酒があります。またハードサイダ
ー、ワイン、クラフト酒など様々な
お酒を楽しめます。

紫波町図書館に感動して、移住の
決めての一つになりました



静かに本を読む場所という概念ではなく、図
書館の司書さんと気軽にお話ししたり、相談
したりすることができます。子供たちの声が
聞こえる雰囲気も素敵です。基幹産業である
農業関連図書が多いことや私たちの生活に寄
りそってくれるような企画展示も魅力の一つ
です。

3

紫波町へようこそ 移住にかかる費用を支援します

東京圏から移住した方向け

U・Iターン移住支援金

<支援額>
単身60万円、世帯100万円

東京圏の大学を卒業した方向け

地方就職支援金

<支援額>
選考にかかった交通費、
就職に係る引っ越し費用を補助

県外から移住した 39歳以下の方向け

若者U・Iターン移住支援金

<支援額>
単身15万円、世帯25万円

問合せ/企画課総合政策係

紫波町地域づくり課

〒028-3392

岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前二丁目3番地1

電話番号（代表）019-672-2111

移住コーディネーターへの
ご相談はこちらから！



紫波町公式note



作成：村上一江